

# 左利き書字について (増補第2版)

はじめに、書字に限らないことですが、左利きに右利きと同じ原則を適用して、ノートをまっすぐに置く、姿勢をよくするというのは、無理な話です。例えば、ノートの斜め置きは、左利きの書字の方法として認めてください。

ノートに書くときに妙に姿勢の悪い子がいます。見れば左利きの子どもということが多いようです。

横書きだと書いた部分が見えないので図 ①のように、手を迂回させて書くので、肘の位置をうんと前に出します。そうすると机にもたれかかって寝そべる姿勢になってしまいます。姿勢が悪いし、顔もノートに近寄るので目にも良くない訳です。これは直したい姿勢ですが、単純に「姿勢を良くしなさい」というのは無理です。

1980年頃に人から聞いた話で、左で書く子に以下のような指導をしている書道教室の先生がいました。左利きだと書道の時は右下がりの字になりやすいので、図 ①のように(ちょっと極端に斜めですが)横書きノートや、書写の半紙を斜めに置くことで、問題を解決できます。横書きの時も見やすく問題ありません。

言われて見れば確かにそうでした。自分が左でノートの左端に追加で記入しているメモは45度の傾きだし、アメリカ映画の中で有名な俳優(誰だったか忘れましたが)も左で、斜めからサインしているシーンを見たことがあります。自然とこの形を取り入れている人は多いようです。

他に方法はないものかと、ウェブサイトを検索してみましたが、ノートは斜め置きで、毛筆は、右下がりの字になるので、右使いで練習して慣れた人が多いようです。

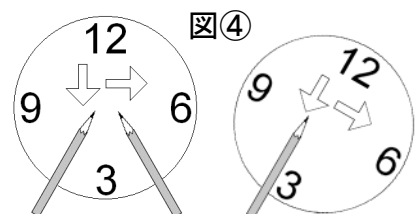
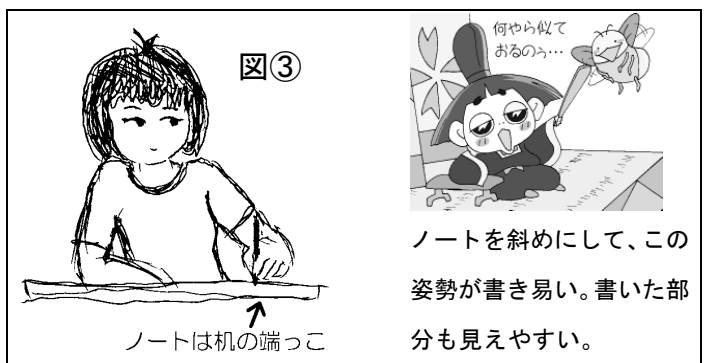
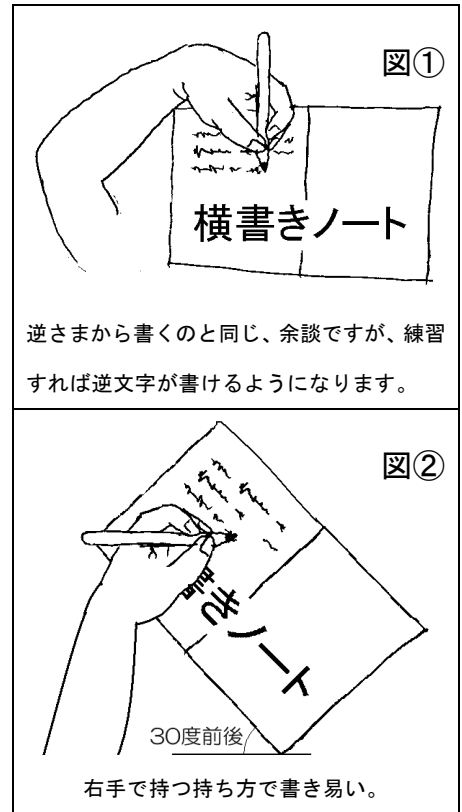
探していくうちに、上越教育大学 書写書道研究室のサイトの「書写書道特論レポート」が公開されていました。

その中に左利きについて、「講義ではその対処法として三つ紹介されていた。一つは上体を左(原文のまま、注参照)に傾けること。

もう一つは筆記具を右に大きく傾け、筆記具の先を出すことで、見えるようにしているということ。最後に脇を開いてノートを傾けること。」とあり、図 ② が上体を傾けた姿勢です。

図 ② と併用すると見やすくてよいのではないかと思います。

さらに、2つ目の方法について、通常の右で持つ鉛筆の持ち方が正しいとして、左利きに適用することに疑問を投げかけています。(注: 多分向かって左、本人は右に傾かないと無理である。)

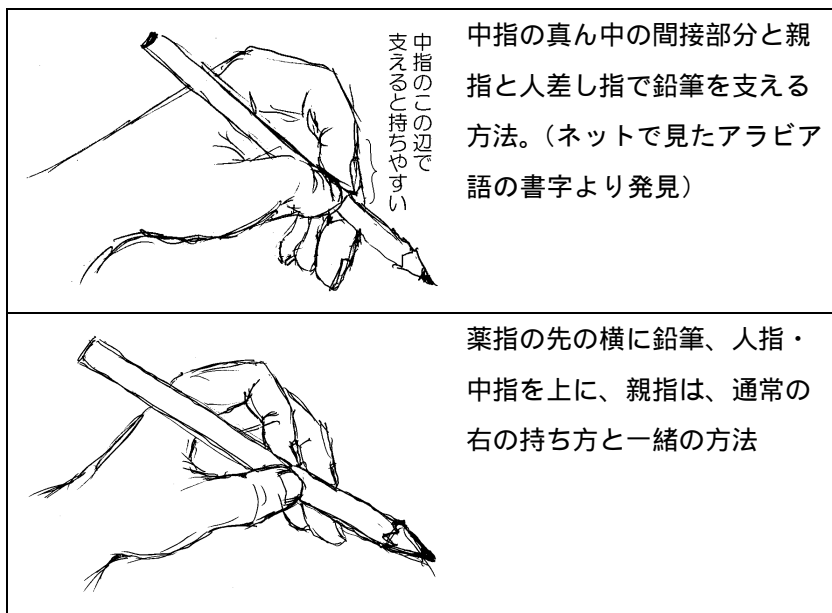
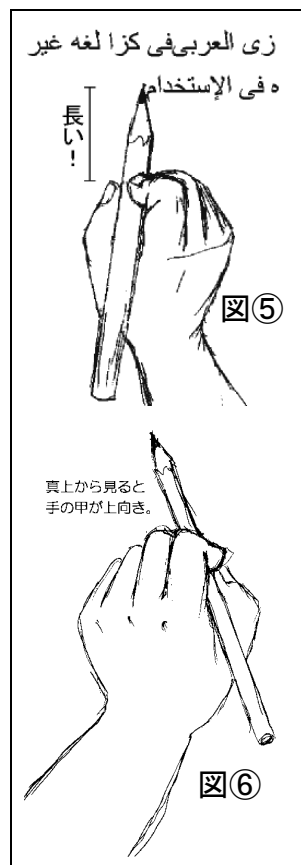


つまり、左利きの書字で、右利きと同じように「鉛筆を持ちなさい」というのはナンセンスな話になります。なぜなら(図 左参照)、右利きの方は 3時から6時の方向に構えますが、同じ持ち方を左で実行すれば、6時から9時の方向に構えることになります。左から右に引くという書き方向(白い矢印)は変わらないのに筆記具の向きが逆になるからです。紙が湿っていたり、何度も消しゴムを使って書き直すときに、筆先が紙を引っ掛ける動きが多くなります。このことへの対策の1つは、ノートを傾けることです(図 右参照)。また、右手に持つ方法を左でそのまま実行すれば書き終わった部分を手が隠してしまうので非常にやりにくいのが実感です。

最後に残った方法として「筆記具を右に大きく傾け、筆記具の先を出すこと」というのが想像できません。そこで、右利きで右から左へ書くアラビア語圏では?と探してみると、この方法の動画を発見することができました。なるほど...図 のような状態で、書いていることはわかりました。裏返せば(図 )、左利き用の持ち方になります。

日本では、図 の右手で 3 から 6 時の鉛筆の向きに持つ方法を標準の持ち方としています。その持ち方では、図 のように 6時から9時の方向に構えて字を書くのはつらいものがあります。このような鉛筆の持ち方が、どうなっているのか分かりません(右利きの方は図 を参照して試してみましょう)。

そんな訳で、どのようにもつと、図 のように左手で鉛筆を 3~6時の向きに構えることができるのか、短時間できるとかではなく、楽に長い時間支えられるのか、また、字を書く上で微調整しやすいのは、親指と人差し指であること、さらに、実際に左利きの子どもが自然と取っている鉛筆の持ち方など考慮の上実験した結果、以下の方法が持ちやすいのでは.....ということになりました。



最後に...姿勢・ノートともにまっすぐにできるからと、最後に紹介した方法を選ぶというのはやめてください。あくまでも本人のやりやすい方法を選択またはいくつかの方法を複合した上で、よりやりやすいようにアドバイスするための材料として、多くの人に見ていただければ幸いです。

この目的のため、配布は自由に行ってください。

また、コピーのコピーのコピーの...なんて、読み辛いものを受け取ったときには、以下からダウンロードしてください。

[http://www9.atwiki.jp/net\\_izu/pages/21.html](http://www9.atwiki.jp/net_izu/pages/21.html)